

人工呼吸（口対口人工呼吸）

- * 気道確保したまま
- * 鼻先を軽くつまむ
- * 息を吹き込む（軽く胸が膨らむ程度）
- * 1回あたり約1秒かけて2回吹き込む
（入らない場合でも、吹き込みを行うのは2回まで）



- * 胸骨圧迫と人工呼吸（30：2）を繰り返す

AEDの使用手順

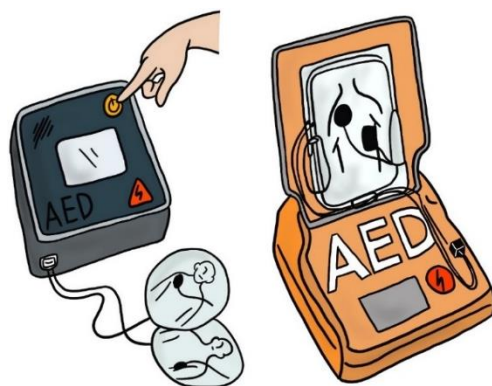


(1) AEDを持ってくる

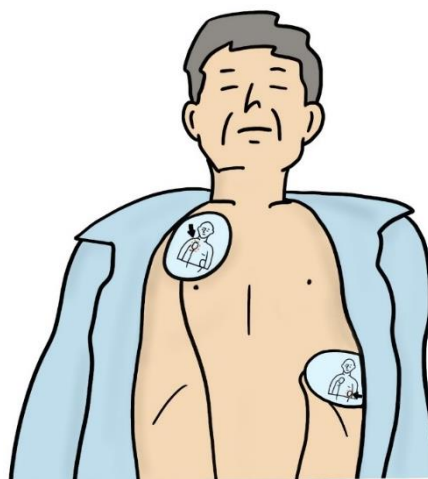
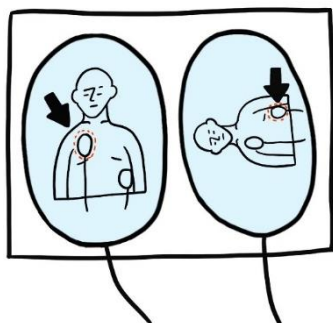


(AED設置イメージ)
AEDは公共施設等の
人目に付きやすい場所
に置かれています。

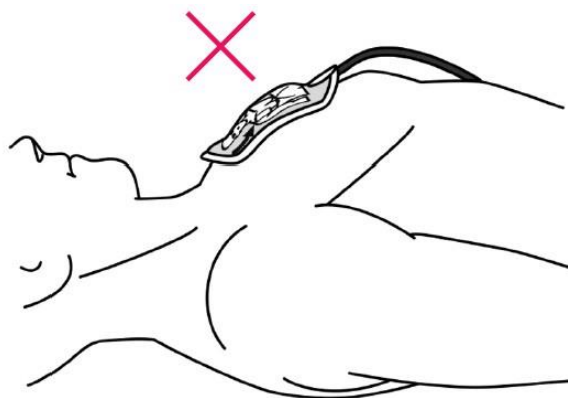
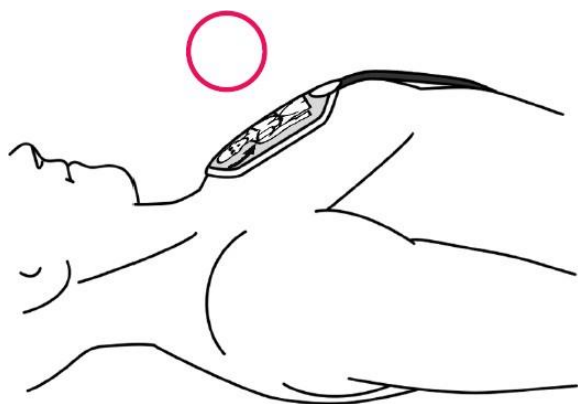
(2)電源を入れる



(3)電極パッドを貼る



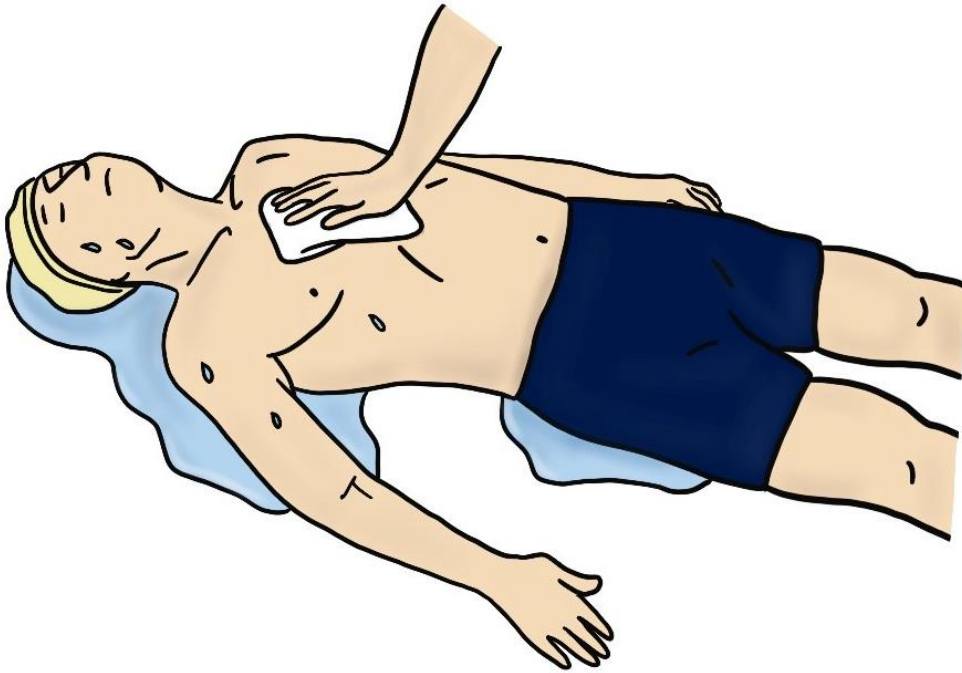
電極パッドに書かれている絵のとおり、倒れている方の胸に
しっかりと電極パッドを貼ってください。



すき間があいているのでよくない

※ 注意する点

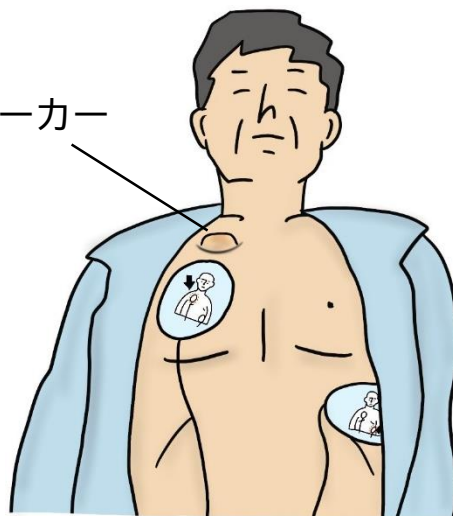
1. 傷病者の胸が濡れている場合



乾いた布やタオルで胸を拭きます。

2. 医療器具など、胸に硬いこぶのような出っ張りがある場合

ペースメーカー



出っ張りを避けて貼り付けます。

3. 貼り薬がある場合

ニトログリセリン、ニコチン、鎮痛剤、湿布薬などが電極

パッドを貼り付ける位置に貼られている場合には剥がします。

4. 金属製のアクセサリー等をしている場合

すぐに外せるなら外しますが、外すことに時間をかけないようにします。

(4)心電図の解析



* メッセージに従い、傷病者から離れる

(5)電気ショック

1. 「電気ショック」の指示が出た場合
あなた自身と周りの誰もが傷病者に触れていないことを確認し、ショックボタンを押す
2. 「電気ショック不要」の指示が出た場合
音声メッセージに従い胸骨圧迫開始

オートショックAEDを知っていますか？

電気ショックが必要な時、ショックボタンを押さなくても、自動で電気ショックを実施してくれるAEDのこと。



メリット

- ①ショックボタンがないため、救助者の負担軽減に繋がる。
- ②適切なタイミングで電気ショックを実施できる。

オートショックAEDには、このようなマークがついています。

小学生～大人用パッド及び未就学児用パッド・モードに名称変更

- JRCガイドライン2020から
 - ▶成人用パッドから**小学生～大人用パッド**に名称変更
 - ▶小児用パッド・モードから**未就学児用パッド・モード**に名称変更

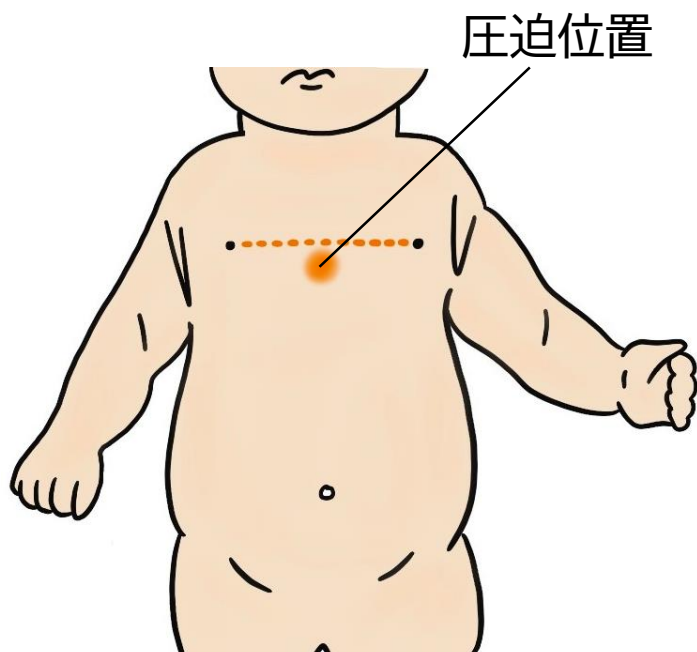
旧名称のものと新名称が混在しているため、注意が必要！

	未就学児用 パッド・モード	小学生～大人用 パッド
未就学児の傷病者	◎（推奨）	○（可）
小学生以上の傷病者	×（不可）	◎（推奨）

AEDを使用した乳児に対する 心肺蘇生法

心肺蘇生の手順（1歳未満の子ども）

* 乳児の場合



* 胸の真ん中
(胸骨の下半分)

胸骨圧迫の方法

- * 胸の真ん中を胸の厚さの約1／3沈むように圧迫する
- * 圧迫は中指と薬指の2本で行う
- * テンポは1分間に 100～120 回
- * 強く・早く・絶え間なく圧迫する



気道の確保（頭部後屈あご先挙上法）

- * 頭側の手を傷病者の額におく
- * 足側の手の指先を傷病者のあご先にあてる
- * あご先を持ち引き上げながら、頭を少し後ろにそらす



人工呼吸（口対口鼻人工呼吸）

- * 気道確保したまま
- * 自分の口を大きく開け、**傷病者の口と鼻を一緒に覆う**
- * 息を吹き込む（軽く胸が膨らむ程度）
- * 1回あたり**約1秒**かけて**2回**吹き込む
（入らない場合でも、吹き込みを行うのは2回まで）



- * 胸骨圧迫と人工呼吸（30：2）を繰り返す

A E Dの使用

- * 乳児も成人や小児と同じようにA E Dを使用する
- * 未就学児用パッドや本体に未就学児用モードがあれば使用する
- * 電極パッド同士が接触しないように注意する

新型コロナウイルス感染症流行期 への対応

新型コロナウイルス感染症が流行している状況においては、すべての心肺停止傷病者に感染の疑いがあるものとして救命処置を実施する。

通常時との相違点

安全の確認

* まず、自分自身がマスクを正しく着用できているか確認する。

* 人数に余裕がある場合は、窓を開けて部屋の換気を行ったり、救急車の誘導をするなど役割を分担をし、多人数で密集しない。

反応をみる

* 顔をあまり近づけすぎないようにして傷病者の肩をやさしくたたきながら大声で呼びかける。

呼吸の確認

* あまり顔を近づけすぎないようにして呼吸を確認する。

胸骨圧迫

- * 傷病者がマスクを着用していれば、外さず胸骨圧迫を実施します。マスクを未着用であれば、マスクやタオル、衣服などで傷病者の鼻と口を覆ってから胸骨圧迫を開始します。

人工呼吸

- * 成人の心停止に対しては人工呼吸は行わず、胸骨圧迫とAEDによる救命処置のみを実施。
- * 小児及び乳児の心停止に対しては、講習を受けて人工呼吸の技術を身につけていて、人工呼吸を行う意思がある場合には、人工呼吸も実施する。

救急隊員への引き継ぎ後の対応

- * 傷病者を救急隊に引き継いだら、すぐに石鹼と流水で手と顔を十分に洗う。アルコールで手を消毒するのも有効。それまでは不用意に首から上やほかの物に触れないようにする。傷病者に使用したマスクやタオルなどは、直接触れないようにして廃棄する。